

コロナ禍の ひきこもりを 語ろう

日時：令和4年 **3月15日**（火）13：30～16：30

場所：川崎市総合自治会館ホール

（川崎市中原区小杉3丁目600番コスギ サード アヴェニュー4階）

対象：川崎市に在住・在勤の方

定員：会場 80名

オンライン 150名 ※いずれも先着順

費用：無料

申込：会場参加の場合はお電話で申し込み下さい。

川崎市ひきこもり地域支援センター

 044-223-6826（木・日曜日除く10時から19時）

お電話で申し込みされた方は、直接会場までおいでください。



オンライン配信
をいたします。
詳細は裏面へ

主催：川崎市

川崎市ひきこもり地域支援センター

協力：川崎市ひきこもり支援ネットワーク会議

「ひきこもりが身近になった、私たちの暮らし」

新型コロナウイルス感染症の流行により、人と人との会話や接触をしないことが当たり前の暮らしになりました。孤立・孤独が私たちの日常を覆い、ひきこもりが身近なものになっています。

ひきこもりの当事者、家族、支援者それぞれの立場でのコロナ禍を語り、ひきこもり支援をみなさんと考えたいと思います。

第一部 講演

「川崎市のひきこもり支援ネットワーク 構築に向けての取り組み」

認定 NPO 法人フリースペースたまりば理事長
川崎市ひきこもり支援ネットワーク会議代表幹事
西野博之さん

川崎市で長年ひきこもり支援に携われてきた
ご経験をもとに、これからネットワークで実現して
いきたいことなどをお話いただきます。

第二部 パネルディスカッション

「コロナ禍のひきこもりを語ろう」

司会 ホットスペース中原 佐々木炎さん
～地域の支援事業所の活動紹介と
コロナ禍でのひきこもり支援を考える～

パネリスト

たじま家庭支援センター 江良泰成さん
だい JOB センター 中村祐太さん
ひきこもり地域支援センター小向利佳子ほか
質疑応答・意見交換

川崎市ひきこもり支援ネットワーク会議とは、川崎市におけるひきこもり支援に取り組む組織・団体等が、それぞれの理念や活動を理解し、学び合い、それぞれの特徴を活かした取組を発展させると共に、協働して切れ目のないひきこもり支援の構築を進めることを目的とし、設立されました。

川崎市ひきこもり地域支援センターは、広く市民の方から、ひきこもりの状態にある方のご相談をお受けし、様々な地域の資源・支援につなぐところです。令和3年4月からNPO法人メンタルケア協議会が委託を受けて運営しています。

＜オンライン参加ご希望の方＞

※オンライン配信は、当日の同時配信となります。ZOOM 配信(ウェビナー)です。

※配信準備の関係でオンラインのお申し込みは **3月12日**までです。

QRコードを
読み込み、
フォーマット
を入力し申し
込みます

申し込みをした
メールアドレス
に配信コードが
送られます

講演会と同じ時
間に、アクセス
していただくと
配信がご覧にな
れます



注) 感染拡大時には、オンライン配信のみとなる場合があります。